ロボット安全試験センター

自動走行研究部　Autonomous Driving Research Division

各試験エリアの主な試験装置

強度試験関連エリア

・複合環境試験装置（振動，温度・湿度）
・耐衝撃試験装置
・耐荷重試験装置
・ドラム式走行耐久試験装置

EMC試験関連エリア

・電波暗室
・シールドルーム

走行試験関連エリア

・平担路
・傾斜路

対人試験関連エリア

・衝突安全性試験装置
・静的安定性試験装置
・自動車衝突用ダミー

主なサービスと試験項目

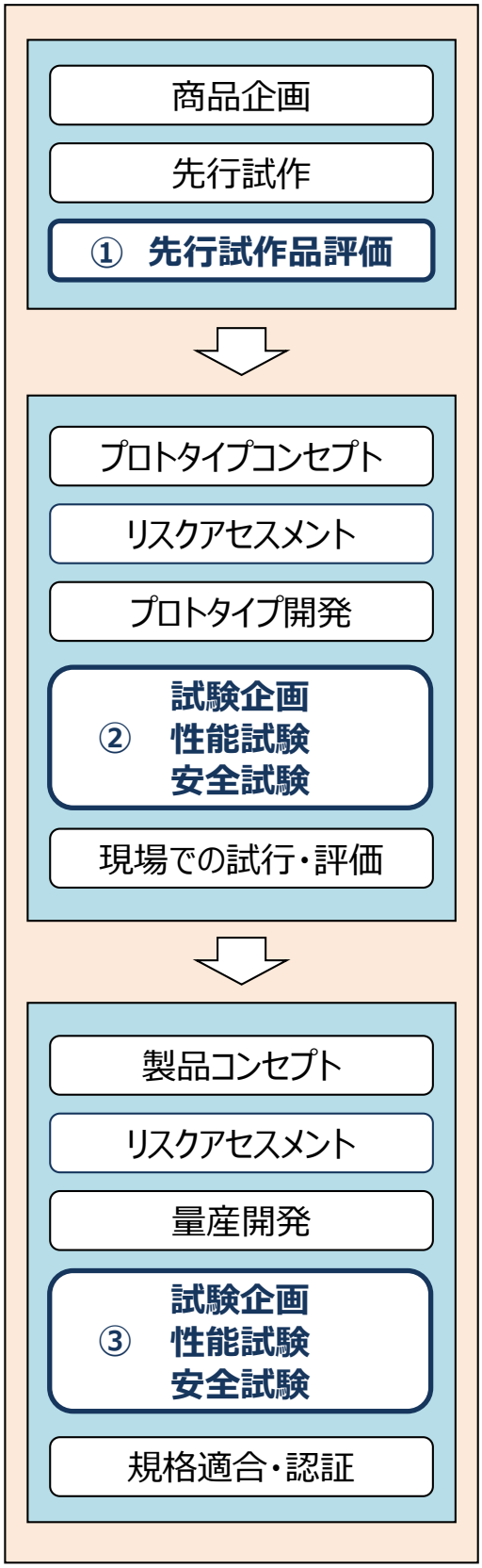
開発試験
・試験方法検討のサポート
・試験治具の製作
・試験の実施／成績書作成

規格適合試験
・規格選定のサポート
・試験の実施／成績書作成
・認証取得のサポート

環境条件や外的入力による安全系の故障や誤動作	EMC試験
	複合環境試験装置（振動，温度・湿度）
	耐荷重試験
	耐衝撃試験
安定性	静的安定性試験
	走行安定性試験
使用過程での安全系の故障	耐久性試験
安全機能の妥当性	障害物検知試験
対人安全性	衝突，狭圧安全性試験

ロボット開発のパートナーにJARIを選ぶ3つの理由

ロボット開発の例



①企画・設計段階でのサポート経験が豊富

開発の初期段階において，基本機能や安全性の予備評価をし，想定されるリスクを洗い出しておくことは，設計の後戻りなどの無駄なコスト・時間，販売の機会損失を抑制するために非常に重要です．

JARIでは，設計初期段階で適切なアドバイスの提供が可能です．

②試作段階での評価で抜群の対応能力

試作品を用いた性能評価や，製品を初めて市場に出す実証試験などの前に最低限の安全性を確保したいニーズはございませんか．

JARIでは， 2009年からのNEDO・国プロジェクトで研究・サポートを行ってきた実績を活かし，メカニカル試験，EMC試験などお客様のニーズ・立場に合わせた試験の企画提案・実施が可能です．

③量産段階での規格適合・認証サポート実績あり

製品を国内・海外のマーケットへ送り出すには，その国の該当する規制や要求事項をクリアしている必要があります．

JARIでは，関係機関・提携の研究機関などのネットワークを活用して認証取得のサポート行います．

国プロジェクトの一例

・生活支援ロボット・実用化プロジェクト（2009-2013）
NEDO：国立研究開発法人新エネルギー産業技術総合開発機構
・ロボット介護機器開発・導入促進事業（2013-2014）
METI：経済産業省
・ロボット介護機器開発・導入促進事業（2015-2020）
AMED：国立研究開発法人日本医療研究開発機構